

令和5年度 第1回北秋田市総合戦略検証会議

効果検証シート（地方創生関係交付金事業）

1. 奥秋田サステイナブルツーリズムプロジェクト
2. 森吉山ウェルカムステーション整備事業

# 北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証シート

<b>事業名</b>	<b>奥秋田サステナブルツーリズムプロジェクト</b>	<b>担当部課名</b>
<b>総合戦略基本目標</b>	基本目標1 産業振興による仕事づくり 1-④ 観光・レクリエーションの振興	商工観光課観光振興係
<b>交付金 種別</b>	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)	
<b>事業目的(一覧表F列)</b>	近年の観光の動向として、観光目的地選定時に“サステナビリティ”を重視する旅行者が増えており、特に外国人観光客や修学旅行・教育旅行においてはその傾向が強くなっている。また、観光消費額(消費単価)を上げる新たな戦略が必要となっている今、DMO管轄エリアの強みである自然(国立公園等)や縄文遺跡(世界遺産)、地域産業に根差したサステナブルな取り組みを、レジャー観光だけでなく、教育・企業研修など、様々なニーズに合わせ再編集することで付加価値を向上させ、サステナブル(持続可能)な“稼ぐ観光”を構築し、次の3つのゴールを目指す。 (1)エコツーリズムを核としたサステナブル・デスティネーションの確立 (2)北奥羽の広域的な連携による相互発着型観光 (3)持続可能性に重きを置いた長期的に稼ぐ観光の枠組み構築	

<b>事業費</b>	<b>総事業費(入力シートD列)</b> 20,501,663円	<b>交付金実績額(入力シートE列)</b> 3,146,892円
------------	-------------------------------------	--------------------------------------

NO	KPI(重要業績評価指標)
①	地域への経済波及効果(百万円)
②	教育市場(修学旅行・教育旅行・留学)収入(千円)
③	農家民宿関連(農泊・農業体験・きりたんぼ作り体験等)収入(千円)
④	来訪者の地域のサステナブルな取り組みに対する評価(5段階評価)(ポイント)

KPI	目標値									
	実績値									
	年度	R4	年度	R5	年度	R6	年度	—	年度	—
①		11,387		11,929		13,014		—		—
		未確定		—		—		—		—
②		1,564		1,991		2,844		—		—
		4,089		—		—		—		—
③		780		993		1,418		—		—
		2,447		—		—		—		—
④		3		3		3		—		—
		4.09		—		—		—		—

**事業の概要(一覧表BS列)**

国内外のマルチクラスをターゲットとした、環境・文化の振興を志向するすべての人々を対象に、『未来に向けて自然と暮らしを守り、活かし、つなげる。恒久なる時空を超えた、成長する・貢献する旅づくり』をコンセプトに、北奥羽の広域的な連携による相互の発着型観光となる「旅づくりの拠点」整備と、『環境にやさしい、身体にやさしい、人にやさしい奥秋田』をコンセプトに、「環境、産業、教育、文化、自然」などの様々な分野に当エリアの強みであるサステナブルを付加価値として新たに加えた、モノ(商品)とコト(観光)を開発し、「稼ぐ観光、豊かな暮らし」に繋げるものである。

具体的な取り組みとしては次の2つを事業の柱とする。  
 ①エコツーリズムを核とした新たな市場開拓と稼ぐ仕組みづくり  
 ②観光を活用した地域の自然・文化・経済の持続可能性向上のための態勢整備

◆担当部署による自己分析(各項目5点満点、総計45点満点)

<b>妥当性評価</b> 12	<b>有効性評価</b> 12	<b>効率性評価</b> 10
市が関与すべき事業か 4	事業は効果的か 4	他に効率的な手法はないか 4
市民のニーズは高いか 4	成果が期待できるか 4	コスト削減の余地はないか 3
目的・対象は妥当か 4	政策目標の実現に貢献しているか 4	受益者負担は適切か 3

<b>総合評価</b>	<b>今後の方向性</b>	<b>事業の取組状況と今後の対応方針について(入力シートBT列)</b>
<b>34</b>	改善して継続	令和4年度当初は海外からの入国が制限されていたため、観光客の受け入れ再開時に備え、ツアー商品開発やランドオペレーター資格取得など、受け入れ態勢の整備に取り組んだ。秋頃から国内におけるインバウンド客の受け入れが本格的に再開されたため、DMOとしても、世界最大級の見本市「SIAL PARIS」への参加や、外国人インフルエンサー招聘事業など、秋田県北地域の魅力を世界に向けて発信する事業展開を行った。今後は、近隣のDMOとも連携を図りながら国内外からの観光誘客事業を強化していくほか、企業研修やワーケーションの受け入れにも力を入れていくこととしており、生活文化やエコツアーを活かして引き続き観光消費額の拡大を目指しながら、持続可能な観光地域づくりに取り組んでいく。

----- 以下は検証会議で使用 -----

◆検証会議による客観的検証

<b>妥当性評価</b> 12	<b>有効性評価</b> 12	<b>効率性評価</b> 10
市が関与すべき事業か 4	事業は効果的か 4	他に効率的な手法はないか 4
市民のニーズは高いか 4	成果が期待できるか 4	コスト削減の余地はないか 3
目的・対象は妥当か 4	政策目標の実現に貢献しているか 4	受益者負担は適切か 3

<b>総合評価</b>
<b>34</b> /45

<b>検証会議による評価</b>
<b>B</b>

【検証会議 評価基準】

- A かなりの効果がある
- B 相当程度の効果がある
- C あまり効果が見られない
- D 効果が乏しく改善の必要ある

【参考:評価基準】



# 北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証シート

<b>事業名</b>	<b>森吉山ウェルカムステーション整備事業</b>	<b>担当部課名</b>
<b>総合戦略 基本目標</b>	基本目標1 産業振興による仕事づくり 1-④ 観光・レクリエーションの振興	総務部内陸線再生支援室
<b>交付金 種別</b>	地方創生拠点整備交付金	
<b>事業目的 (一覧表F列)</b>	<p>○ 現在の県立公園から国定公園への昇格に関わる活動が地元北秋田市において具体化してきている現状も踏まえ、山を目的として来訪したお客様はもちろんのこと、以外の目的で訪ねてきたお客様、さらには北秋田市をはじめとする沿線地域のすべての住民に、森吉山の魅力や価値をワンストップで感じ取ってもらえる「森吉山エリアの四季」をテーマとした「情報発信型のスペース」を秋田内陸線阿仁合駅舎内2階に整備し、森吉山一帯の観光関連情報や来訪者が必要とする情報を発信することで、沿線の観光価値を高めるとともに地域の魅力向上を目指し、観光客増と地域の観光関連事業者の収入増を図ることを目的とする。</p>	

<b>事業費</b>	<b>総事業費(入力シートD列)</b> 90,322,180円	<b>交付金実績額(入力シートE列)</b> 42,590,000円
------------	-------------------------------------	---------------------------------------

<b>NO</b>	<b>KPI(重要業績評価指標)</b>
①	観光コンテンツの発信拡大に伴う株式会社WEBサイトアクセス数(PV)
②	整備施設(阿仁合駅舎2階)訪問者数(人/日)
③	整備施設(阿仁合駅舎2階)チャレンジショップ活用事業者数(人/団体)
④	—

KPI	目標値 実績値									
	年度	H30	年度	R1	年度	R2	年度	R3	年度	R4
①		756,754		779,554		803,038		827,227		852,141
		770,810		866,782		823,052		838,799		992,450
②		0		62		67		73		79
		0		68		51		43		49
③		0		12		14		14		14
		0		6		6		6		6
④		—		—		—		—		—
		—		—		—		—		—

事業の概要(一覧表BS列)	
	<p>○ 森吉山の観光関連事業者が提供する様々なコンテンツを情報提供する。                  ○ 内容は各個別事業者の取り扱いコンテンツの体験(購入)意欲の喚起に結びつくものとし、整備施設来訪者への提供のみならず会社の既存WEBサイト上での誘客コンテンツとしても活用する(多言語対応:英・台・韓・タイ)。                  ○ 森吉山関連の中小零細事業者や地域活動団体等が訪問客に対し体験メニュー案内や特産品販売などを行う「チャレンジショップ」機能を設ける。                  ○ 整備施設では、高齢者等インターネット環境にない方に対しても、ジオラマやパネルなどのアナログ的な方法で情報を提供する。</p>

◆担当部署による自己分析(各項目5点満点、総計45点満点)

<b>妥当性評価</b>	<b>14</b>	<b>有効性評価</b>	<b>14</b>	<b>効率性評価</b>	<b>15</b>
市が関与すべき事業か	5	事業は効果的か	5	他に効率的な手法はないか	5
市民のニーズは高いか	4	成果が期待できるか	5	コスト削減の余地はないか	5
目的・対象は妥当か	5	政策目標の実現に貢献しているか	4	受益者負担は適切か	5

<b>総合評価</b>	<b>43</b>	<b>今後の方向性</b>	改善して継続
<b>事業の取組状況と今後の対応方針について(入力シートBT列)</b>			
<p>阿仁合駅舎2階を改修し、エレベーター・冷暖房設備・LED照明の新設、階段の移設、床の防音対策と強度の増強、内壁の断熱機能の付加をするとともに、デジタルサイネージやジオラマ等を整備することで、地域の魅力発信スペースを新設。これにより沿線の観光価値を高め、活性化を図る。</p>			

----- 以下は検証会議で使用 -----

◆検証会議による客観的検証

<b>妥当性評価</b>	<b>14</b>	<b>有効性評価</b>	<b>14</b>	<b>効率性評価</b>	<b>13</b>
市が関与すべき事業か	5	事業は効果的か	5	他に効率的な手法はないか	4
市民のニーズは高いか	4	成果が期待できるか	5	コスト削減の余地はないか	4
目的・対象は妥当か	5	政策目標の実現に貢献しているか	4	受益者負担は適切か	5

<b>総合評価</b>
<b>41</b> /45

<b>検証会議による評価</b>
<b>A</b>

【検証会議 評価基準】

- A かなりの効果がある
- B 相当程度の効果がある
- C あまり効果が見られない
- D 効果が乏しく改善の必要ある

【参考:評価基準】

	5	4	3	2	1	
的り全	切	概	な	余	検	適
、く	り	ね	い	地	討	切
最大そ	で	い	ち	が	・	く
適委の	あ	効	そ	ら	あ	非
で効と	る	果	の	が	改	効
あ果お	る	的	と	も	善	率
る	適	お	い	す	る	は
	通	え	る	る	な	な